



「学術賞」・「水環境貢献賞」・「学術奨励賞」・「功労賞」 候補者の推薦についてのご案内

公益社団法人日本水環境学会 九州沖縄支部は、九州沖縄地域の水環境に関する学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を目的として、様々な活動を行っています。本支部は、九州・沖縄地域の水環境分野で顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者に対して、毎年秋～冬に推薦を通じた公募と支部の審査により、該当者を「学術賞」、「水環境貢献賞」、「学術奨励賞」、または「功労賞」として表彰しています。

【学術賞】

水環境に関する学術的研究成果が特に優れた個人を表彰します

【学術奨励賞】

水環境に関する学術的研究成果が特に優れ、将来の活躍が期待される満40歳未満の個人を表彰します



【水環境貢献賞】

水環境の保全・創造に関する社会活動・文化活動が特に顕著である団体または個人を表彰します

【功労賞】

九州・沖縄支部の運営活動に著しく貢献した団体または個人を表彰します

過年度の受賞者・団体一覧

学術賞

- 2015年度: 鈴木祥広(宮崎大学工学部)
「宮崎の水環境における薬剤耐性菌の存在実態に関する調査・研究」
- 2012年度: 藤井暁彦(一財)九州環境管理協会
「アサリの生態・生活史の解明ならびにアサリ資源の保全策に関する定量評価」
- 2005年度: 中嶋雅孝(一財)九州環境管理協会
「有明海における冬季の海苔及び赤潮プランクトンの増殖特性」
- 2003年度: 門上希和夫(北九州市環境科学研究所)
「水環境中有害化学物質の分析法の開発および環境調査に関する研究」
- 2002年度: 中牟田啓子(福岡市保健環境研究所)
「地下水汚染機構解明のための高感度分析法開発に関する研究」
- 2001年度: 小田泰史(熊本県保健環境科学研究所 水質部)
「底生動物相を指標とする河川の水環境評価に関する研究」
- 2000年度: 松原英隆(福岡市保健環境研究所)
「水中有機物の構造と塩素処理生成物に関する研究」
- 1999年度: 徳永隆司(福岡県保健環境研究所)
「河川・地下水の従属栄養細菌群の動態と有効利用に関する研究」
- 1998年度: 赤木洋勝(国立水保総合研究センター・国際総合研究部・部長)
「水銀および水銀化合物の水環境中動態に関する研究」
- 1997年度: 山田真知子(北九州市環境科学研究所アクア研究センター・主査)
「閉鎖性海域の生態学的調査および環境修復法」

学術奨励賞

- 2022年度: 古閑豊和(福岡県保健環境研究所)
「有機汚染物質のターゲットスクリーニングと生物応答試験による新たな水質評価手法に関する研究」
- 2020年度: 柏原学(福岡県保健環境研究所)
「季節変動を行う下水処理場放流水に含まれる栄養塩類の動態に関する研究」
- 2015年度: 古川隼士(国立高専機構大分高専)
「大分川におけるふん便汚染に関する細菌学的調査」
- 2012年度: 中島淳(福岡県保健環境研究所)
「九州北部の淡水魚類を用いた平均スコア法による水環境健全性評価法に関する研究」
- 2011年度: 内田雅也(熊本県立大学大学院・(株)エコエノミクス)
「アミDNAマイクロアレイを用いたDDTの生態影響評価」
- 2007年度: 鬼倉雄雄(九州大学大学院農学研究院)
「有明海沿岸部のクリークにおける淡水魚類の生息の有無・生息密度とクリークの護岸形状との関係」
- 2005年度: 韓連熙(九州大学大学院薬学研究院学術研究員)
「A kinetic study of enhancing effect by phenolic compounds on the hydroxyl radical generation during ozonation」
- 「優占種二枚貝ホトギスガイが博多湾奥水質に与える影響に関する研究」
- 2002年度: 鈴木祥広(宮崎大学工学部)
「タンパク質を用いた泡沫分離法による汚濁排水からの懸濁物除去に関する研究」
- 2002年度: 石橋融子(福岡県保健環境研究所)
「面源負荷による地下水汚染の機構解明並びにシロコヤツリ等を用いた水環境改善手法の開発」
- 2001年度: 山西博幸(佐賀大学低平地研究センター)
「北川干湖部における水質変動と希少生物・カウスナガニの生息環境に関する調査研究」
- 2001年度: 石橋弘志(長崎大学大学院生産科学研究所)
「バイオマーカーを用いた魚類生息環境の評価に関する研究」

水環境貢献賞

- 2021年度: 特定非営利活動法人 海の再生ネットワークよろん(代表 田畑克夫)
「与輪島サンゴ礁保全の取り組み」
- 2019年度: (特非)日本環境監視協会(代表 山崎惟義)
「博多湾をはじめとする調査・研究ならびに市民の意識を身近な水環境保全に向けた取り組み」
- 2017年度: 阿蘇ホテルの会(代表 湯浅睦雄)
「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」
- 2016年度: (公財)肥後の水とみどりの愛護基金(理事長 甲斐隆博)
「くまもとの水とみどりの保全にかかる啓発・助成と実践活動」
- 2015年度: 自然と暮らしを考える研究会(佐賀水ネット会員)(代表 石盛信行)
「唐津市町切地域の水文化を活用した環境教育支援活動」
- 2014年度: 宮崎県都城工業高等学校化学技術部(顧問 宇賀村心是)
「都城地区河川水質改善プロジェクトでの水質検査」
- 2013年度: (特非)大淀川流域ネットワーク(代表 杉尾哲)
「宮崎県独自の五感を使った水辺環境指標調査の普及活動」
- 2012年度: 大野川流域ネットワーク(代表 幸野敏治)
「川つくり・地域づくりシンポジウム河川の源流碑設置とクリーンアップ活動」
- 2011年度: 紫川を愛する会(代表 葉山隆)
- 2009年度: フィールドウォッチ研究所(代表 青木直人)
- 2008年度: (公財)タカヤマリバー環境保護財団(代表 橋本酒)
- 2008年度: つやざき海辺の自然学校(代表 板谷晋嗣)
- 2007: ふくおか湿地保全研究会(代表 服部卓郎)
- 2005年度: 福岡県立北九州高校(顧問 井上大輔)
「北部九州の水路やため池での魚類・水生昆虫の調査および環境啓発活動」
- 2005年度: 熊本県立球磨工業高校「建設工学科」(顧問 吉田秀樹)
「人吉・球磨地域に発生する霧についての謎の解明に関する研究活動」
- 2004年度: (特非)宮崎野生動物研究会(代表 竹下完)
「宮崎県のアカウミガメの生体調査、自然環境の保護と啓発、および環境教育事業」
- 2004年度: (特非)はかた夢松原の会(代表 川口道子)
「市民活動をおとした水環境の改善」
- 2002年度: 福岡高等学校化学部(顧問 高木広爾)
「河川水の浄化方法とその浄化能力に関する研究」
- 2002年度: 明善高等学校(校長 今村八洋)
「「水」を通して生活(くらし)を見つめる活動」
- 2000年度: アジア砒素ネットワーク(会長 上野登)
「砒素汚染に関する国際援助活動」
- 2000年度: 株式会社トランスジェニック(社長 井出剛)
「次世代型モノクロナール抗体作製技術の開発」
- 1999年度: 西南女学院高等学校化学部(顧問 上原加瑞子)
「北九州における海産マキガイの生殖器異常に関する研究」
- 1999年度: 大分県杵築市カブトガニを愛する会(会長 工藤弘太郎)
「大分県杵築市を中心とした水環境保全と自然環境教育および各種講演会開催などの社会・文化活動」
- 1998年度: 宇根豊(福岡県農業大学校)
「環境作物の実践と理論化」
- 1997年度: 江津湖研究会(会長 柘田聖孝)

功労賞

- 2015年度: 宮城俊彦(元沖縄県衛生環境研究所)
 - 2004年度: 松永雄二(株)新日本環境コンサルタント)
 - 2003年度: 北森成治(福岡県保健環境研究所)
 - 2003年度: 久保清(元熊本県保健環境科学研究所)(現: (一財)九州環境管理協会)
- 特別功労賞**
- 2021年度: 高梨啓和(鹿児島大学大学院理工学研究科)